

旬情報 第30回内部川清掃 グリーンアップうつべ

平成26年7月6日(日)内部地区社会福祉協議会及び内部川清掃実行委員会主催の河川清掃及び特定外来種の防除が行われます。

今年で30回目の開催を迎え、地域の19自治会、15団体、地元中学生など、毎年千数百人が参加しています。7年前からは地元有識者の指導のもと、特定外来種の防除にも取り組んでいます。なかでもアレチウリは河川内の多くの箇所でも繁殖していましたが、ここ数年は個体数が減り、成果が上がっています。熱中症に気を付けて、水辺環境の美化にご協力をお願いいたします。

過去の活動状況



内部「かわらばん」2013年7より引用

Pick Up!!

アレチウリ(荒地地瓜)はウリ科の大型のツル植物です。北米原産で日本では本州以南で帰化植物となり、特定外来生物に指定されています。

ツルのように巻き付きながら高木をも覆い尽くして枯死させてしまう、成長・繁殖力が強いこと、根が残ると再生することから平成18年2月から「特定外来生物」に指定されました。

◆駆除・防除の方法◆

- ・種を付ける前に抜き取る。
- ・一年に数回抜き取る。
- ・出来るだけ小さいうちに抜き取る。
- ・現れなくなるまで数年間続ける。



※鈴鹿川・鈴鹿川派川・内部川・安楽川に関することについてご意見やご要望がありましたら下記の連絡先までお願いします。

◇所在地(鈴鹿出張所)
〒510-0874
四日市市河原田町 1962-2
(鈴鹿橋(旧23号)より東側堤防沿い)

◇お問い合わせ
電話 059-345-5593
FAX 059-346-4907

◇国土交通省三重河川国道事務所
のホームページ
<http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>



本資料の画像、記載内容については「ウィキペディア(Wikipedia):フリー百科事典」より引用しています。



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川の現場から情報発信

鈴鹿川通信 第19号

平成26年7月発行



国土交通省 三重河川国道事務所 鈴鹿出張所

特集 THE 鈴鹿川

中勢～北勢の暮らしを支える!!



いしやくし
石薬師宿

江戸時代、鈴鹿川沿川には東海道の5つの宿場町がありました。

旬情報 グリーンアップうつべ



坂下宿



関宿



庄野宿



亀山宿



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

特集 THE 鈴鹿川

中勢～北勢の暮らしを支える!!

鈴鹿川の概要

水源地：亀山市関町坂下（高畑山 標高 773m）

流域面積：323km²

流域内市町村 四日市市、鈴鹿市、亀山市
流域内人口 約 11 万人

流路延長：

本川 38km、派川 4km、内部川 19km、安楽川 14km

主な産業：

下流部の四日市市には日本屈指の石油化学産業が発達しています。中流部の鈴鹿市には自動車関連産業、上流部の亀山市には液晶関連産業が発達しています。

地形・地質：

上流部は急峻で花崗岩類が大半を占め、花崗岩が風化したマサが流出して河床構成しています。

改修履歴：

昭和 13 年 8 月洪水を契機に、昭和 17 年に直轄河川改修に着手しましたが、昭和 34 年の伊勢湾台風により多大な被害を受けたことで、河口部において高潮対策事業が実施され、昭和 38 年に完成しました。さらに、昭和 49 年の洪水以降は大規模な改修が進められています。現在の鈴鹿川では、下流部より順次、引堤や河道掘削などを実施しており、老朽化が著しい河口部高潮堤防の補強を行っています。

三重県亀山市高畑山を水源とする鈴鹿川。傾斜の緩やかな丘陵地は茶畑、畑等に利用され都市部近郊では市街化も進んでいます。下流部は水田に利用されると共に、良港をもつ四日市コンビナートを中心に、日本屈指の一大工業地帯として発展しています。



鈴鹿出張所のシンボル

鈴鹿川水系をよく見ると「鹿」の形状が現れます。（編集者の思い込み!?!）鈴鹿出張所は鹿の心臓部に位置し、鈴鹿川流域に安全、安心を届け、活力を送りたいとの希望を込めて、「鹿の躍動する姿」と管理区間である「鈴鹿川・鈴鹿川派川・内部川・安楽川」を合成させたイラストを鈴鹿出張所のシンボルとしています。

亀山関テクノヒルズ

三重県が進めるクリスタルバレー構想の中核的な工業団地であり、100ha を超える大規模な内陸型工業団地を形成しています。特にシャープ亀山工場は 33ha を占めています。



庄野宿

江戸から数えて 45 番目の宿。石薬師宿から庄野宿までは 3km と、東海道で 2 番目に短い。安藤広重が描く「東海道五十三次」の風景版画の傑作といわれる「庄野の白雨」として有名です。



鈴鹿出張所

鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川を管理する国土交通省の出先機関です。昭和 17 年に四日市市浜田町に設置され、昭和 19 年に現在の河原田町に移りました。平日は隔日、休日は月 1 回河川巡視を行っています。

四日市コンビナート



昼間



夜間

四日市コンビナートは、昭和 30 年代に日本で初めて形成された石油化学コンビナートであり、産業の街として日本の経済を牽引してきました。発展の過程で公害問題も発生しましたが、懸命な努力により、良好な環境を取り戻しています。夜間は幻想的な輝きをもって人々を魅了します。

■：大臣管理区間
(国土交通省が管理している区間)



関宿

江戸から数えて 47 番目の宿。古代から交通の要衝で、日本三関の一つ「鈴鹿の関」が置かれ、江戸時代には参勤交代やお伊勢まいりの人々などで賑わいました。風景版画は、早朝大名行列が宿場の本陣から出発する準備をしている様子を描いています。古い町並みが保存されていて、国の重要な建造物群保存地区として選定されています。



坂下宿

東海道の難所・鈴鹿峠を控えた宿場町として賑わいました。鈴鹿峠の麓にあり、東海自然歩道にも含まれています。往時そのままの自然豊かな峠道は「歴史の道百選」にも選ばれ、心休まる風景が今も残っています。

亀山宿

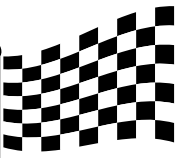
宿場町であると同時に、城下町としても栄え、曲がりくねった複雑な道や坂道が多く、城下町らしい特徴的な町並みとなっています。県下で唯一現存する城郭建造物である亀山城が残っています。

自動車関連産業

本田技研工業(株)鈴鹿製作所が 1960 年に国内 3 番目の工場として設立されました。その後自動車関連産業の集積が進み、鈴鹿市の産業において大きなウェイトを占めています。

F1 日本グランプリ

10月2日-6日には、F1 日本グランプリが鈴鹿サーキットで開催されます。地元鈴鹿市が主体となって「鈴鹿 F1 日本グランプリ地域活性化協議会」が運営され、観戦に訪れた方々が快適に楽しんでいただけるよう「環境整備部会」「おもてなし部会」が設置され様々な取り組みが進められています。



鈴鹿川防災センター

鈴鹿川沿川で大規模な災害に対応するための施設で、防災活動に必要な資材が整備されています。敷地を国土交通省が整備し、活動拠点となるセンターを鈴鹿市が整備しました。



鈴鹿ブルーフエスティバル

鈴鹿川河川敷並びに鈴鹿サーキットを中心に行われる熱気球大会。今年は 10 月 11 日 -13 日の 3 日間に開催されます。また日本で最大級の熱気球レースも同時開催され、国内トップレベルの選手が集まります。

